

2025

# 同友しずおか2



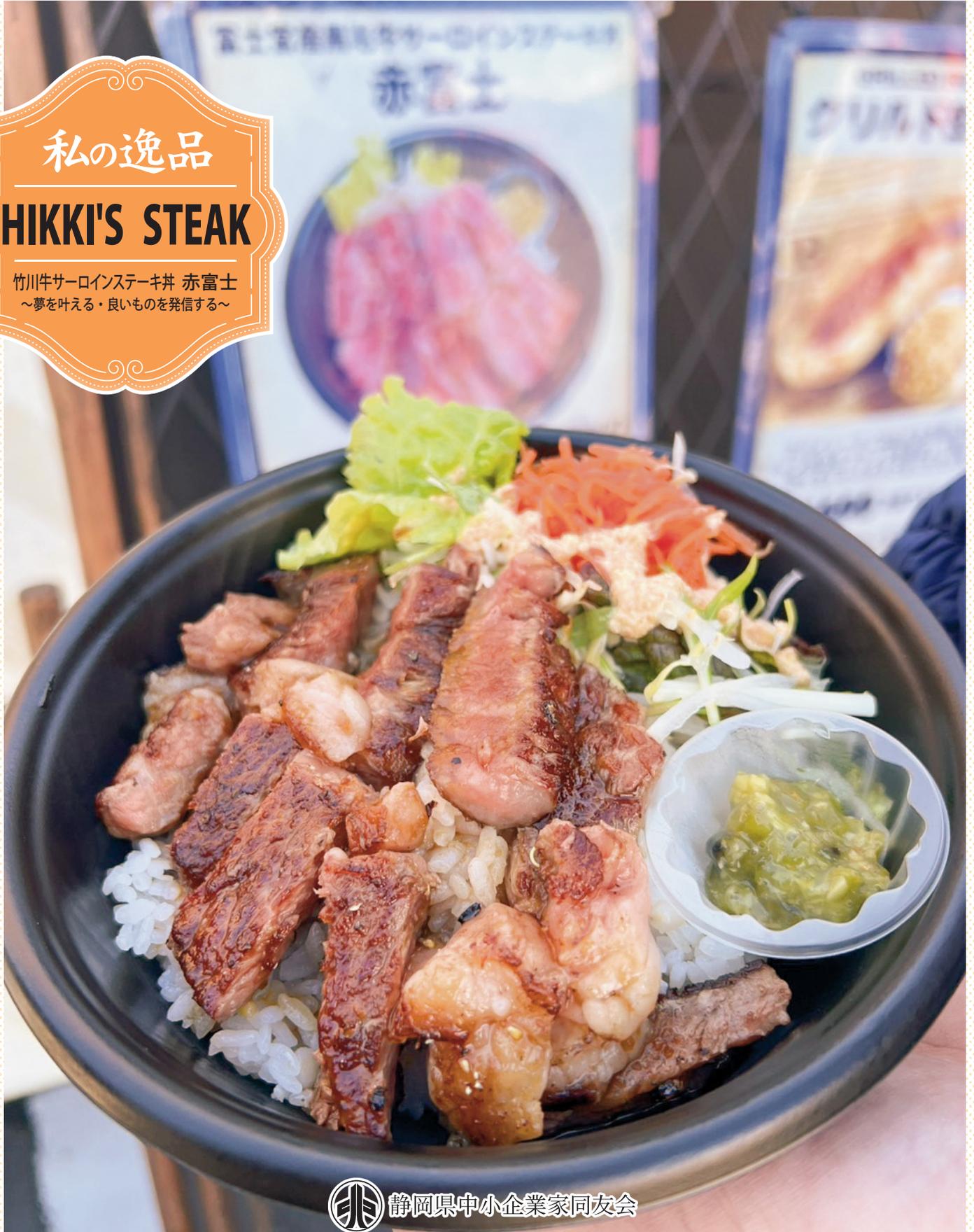
VOL.555

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」

私の逸品

**HIKKI'S STEAK**

竹川牛サーロインステーキ丼 赤富士  
～夢を叶える・良いものを発信する～



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、**同友会**にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130



## ◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

### ◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

### ◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

### ◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の<sup>きょうじ</sup>矜持と努力を結集し、  
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

### 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数1109名

| 氏名                | 社名・事業                                | 所属支部 | 紹介者                | 氏名                 | 社名・事業                               | 所属支部 | 紹介者   |
|-------------------|--------------------------------------|------|--------------------|--------------------|-------------------------------------|------|-------|
| たじま 佑規<br>但馬 佑規   | (株)Machi Hub<br>イベント企画・運営、経営コンサルティング | 伊東   | 増田 隼人              | さの みほ<br>佐野 美保     | 建築板金 渡邊総業<br>建築板金 (雨樋・外壁・屋根等の施工・加工) | 富士宮  | 小田梨恵子 |
| なかはま けいた<br>中濱 慶太 | Xsite(株)<br>システム開発、映像制作              | 伊東   | 足達 聖也              | なかむら たかこ<br>中村 敬子  | (株)永幸<br>紙製品製造                      | 志太   | 松下恵美子 |
| かつま たけし<br>勝間田賢志  | 御殿場原里郵便局<br>郵便、貯金、保険業                | 御殿場  | 勝間田賢一              | むらまつ ようすけ<br>村松 洋佑 | アイマーク(株)<br>生命保険代理店                 | 志太   | 村松 繁  |
| すぎやま ゆき<br>杉山由紀乃  | 日之出屋<br>人材育成サービス、食品雑貨小売り             | 御殿場  | 岡戸 久敏<br>(愛知同友会会員) | おざわ みほ<br>小澤 美保    | (株)アクティーツール<br>機械治具工具の販売            | 浜松   | 梶川久美子 |
| いわた いづみ<br>岩本いづみ  | 富士山サーモン(株)<br>サーモン養殖                 | 三島   | 久保 修平              | やました たつや<br>山下 達也  | やまたつファーム<br>農業 (玉ねぎ)                | 浜松   | 大杉 卓也 |

### 名義変更による新名義人 (敬称略)

| 氏名                | 社名・事業                                  | 所属支部 | 旧名義人  | 氏名                | 社名・事業                     | 所属支部 | 旧名義人  |
|-------------------|--|------|-------|-------------------|---------------------------|------|-------|
| すずき あや<br>鈴木 亜矢   | (株)つぼぐちフードサービス<br>サービス業 (飲食)           | 御殿場  | 坪口 榮二 | おきもと たいが<br>沖本 大河 | (有)トシズ<br>水道業 (給排水衛生設備工事) | 榛南   | 沖本登志春 |
| わらしな ゆみこ<br>藁科祐美子 | (株)山清<br>土木事業 (造成工事、残土処分、植栽用土・砂利などの販売) | 富士宮  | 藁科 顕本 |                   |                           |      |       |

※新会員の写真は e.doyu 「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。



# 竹川牛サーロインステーキ丼 赤富士 ～夢を叶える・良いものを発信する～

HIKKI'S STEAK (富士宮支部)

代表 石川 廣樹氏



新オープンの店舗前にて石川氏

HIKKI'S STEAKの石川氏の逸品は、富士山麓で育った竹川牛のサーロインステーキ丼「赤富士」です。



肉の旨味あふれるステーキ丼

## 社会人経験を経て食の道を模索

若い頃は飲食のアルバイトを経て正社員になり、店長も経験したという石川氏。飲食業の楽しさに惹かれていたものの、その後は生活を考えて工場や化粧品開発会社に勤務しました。当時は仕事も非常に忙しく、家族のことも十分に顧みることができていなかったことに加え、「やっぱり自分は食の仕事がしたい」と思いが募り、食の道を模索し始めます。家族を突然路頭に迷わせるわけにはいかないと、あらゆるイベントに赴いて徹底的に研究・リサーチを重ねました。「高くて良いものを食べたい」という需要に着目し、高付価値のメニューを考案しました。

## コロナ禍にステーキの移動販売を開業

そして2021年、コロナ禍でしたが、緊急事態宣言が解除されてテイクアウトの需要が急増したタイミングで、副業としてステーキの移動販売を開業。イベントや協力企業、店舗の駐車場で出店し、口コミやSNSをフル活用して集客を図りました。狙いは的中し、千円以上、二千元近いメニューでも着実に売上を上げはじめたことで、本業のサラリーマンを辞め、ステーキ店一本に切り替え、その時に現在のトラック型のキッチンカーにステップアップしました。夫婦で仕事をするようになって家族の関係も良好になり、決断して本当に良かったと言います。



イエローカラーのキッチンカー

## 同友会での交流をきっかけに 新メニューをスタート

飲食業界の経営者や昔からの同級生が富士宮支部に居たことで同友会にも入会。たくさんの方の学びはもちろん、何より「人と人の繋がりの大切さ」を実感していると言います。

開業からしばらくは海外製の牛肉を使ったメニュー中心でしたが、同友会メンバーでもある(株)竹川畜産の斉藤智有氏との交流をきっかけに、富士山麓の竹川牛を利用したステーキ丼「赤富士」の販売をスタート。これもまた旨味のあるジューシーな食感でファンの幅を広げています。

## 地域にも役に立ってる存在に

イベントだけではなく、お客様がゆったり過ごして頂ける空間を作りたいと、固定店舗も2024年12月24日にオープン。夢に忠実に一つ一つステップを踏んでいます。今後は、家族経営から一歩前進し、チームを作って「企業」としてビジネス展開したり、SNSを活用した「いいものを情報発信する」サポートを行うなど、地域にも役に立ってる存在として成長していきたいと、さらなる夢に向かって進んでいます。

### HIKKI'S STEAK

〒418-0005 富士宮市宮原236-8

TEL : 070-8504-2929

URL : <https://hikkissteak.shopinfo.jp/>

創業 2022年

社員数 1名

入会年月 2023年9月

事業内容 飲食業

(店舗、キッチンカーによる販売)

取材・記事：田邊 元裕氏 (株)カボス・富士宮支部

取材：伊藤 洋子氏 (株)シーエーティー・富士宮支部

(株)大五堂・深沢 文具・富士宮支部

穂坂 勝彦氏

(富士宮清掃(株)・富士宮支部)



石川氏と取材陣

会員訪問記

経営指針を創る会で自社を見直し、変化へ挑戦

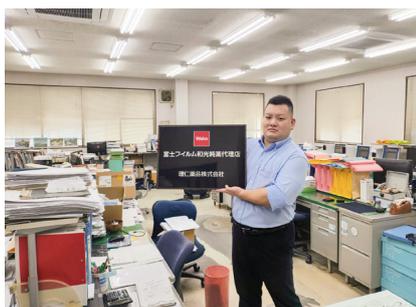
理仁薬品(株)  
代表取締役社長 鈴木達仁氏(静岡支部)



社屋の前にて鈴木氏

**理仁薬品創業期の歩み 試薬とは**  
1951年、理仁(りひと)薬品(株)の前身である平尾化学薬品が創業者の平尾忠作氏によって創業されました。創業当時はリヤカーを引いて、硫酸等の薬品を量り売りしていたといえます。創業期を経て、鈴木達仁氏の祖父であ

る康夫氏が3代目に就任。国内最大手「武田薬品和光純薬(現:富士フィルム和光純薬)」の代理店として、試薬の販売を行ってきました。試薬とは、物質の検出や測定を化学的に行うため使用される物質で、聞きなじみのある物質では、硫酸、塩酸、エタノール等があります。あらゆる測



オフィスにて。理仁薬品は富士フィルム和光純薬の代理店となっている。

定や検査、実験に使用されるため、顧客は保健所、下水道局、飲料・食品メーカー等、多岐に渡ります。1976年に現在の理仁薬品(株)に社名を変更。「リヒト」はドイツ語で光を表し、顧客である研究者の方々に光を照らす光となるようにとの願いがこめられています。会員である達仁氏は2023年に社長に就任、創業者の平尾氏から数えて5代目となります。同友会入会と同時にコロナ禍へ経営者としての在るべき姿を学ぶ

鈴木達仁氏は、2019年に理仁薬品(株)に入社。直後にコロナ禍が始まりますが、PCR装置や、消毒用エタノール、マスクの特需等もあり、今までの既存顧客以外の事業者からも問い合わせが増えました。このような中で、役所やメーカー等の既存顧客以外の事業者との接点が少ないことに気づきました。そんな中、佐藤眞己氏(佐藤燃料(株)・静岡支部)の紹介で同友会に入会しました。同友会では、社長就任に向けて経営を学ぶ一方で、自身が興味のあることに惹かれ、静岡支部政策委員会(現:お宝発見委員会)の活動にも積

創る会参加を経て社長就任 第二創業・変化への挑戦

2023年に社長に就任した鈴木氏は、前年に興経営労働委員会が主催する「経営指針を創る会」に参加。そこで学び、計画したことを基に様々なことに取り組んでいます。今までのルールの見直し、社員との個別面談、加点方式の人事考課など、1年かけて少しずつ変えていきました。会社をより良くするために動くことで、社員も会社を変化させていくことに対して積極的な姿勢に変わってきたといえます。

新たな取組みとして、沼津支部の津賀由布子氏(㈱サンディオス)に依頼しホームページを作成しました。既存の顧客だけでなく外部への発信を強化し、新規の顧客獲得を目指しています。



おなじみの硫酸や硝酸といった商品も扱っている



倉庫内にはたくさんの試薬が積み重ねられている

今後ECサイトも作成予定の鈴木氏。「これは第二創業、新しいことに積極的にチャレンジしたい」と語りました。

取材・記事:藤本浩氏  
取材:プリントバリュー(株)・静岡支部  
(株)アンドパツン・静岡支部  
鈴木竜一氏  
(㈱)ススキ工房・静岡支部  
望月康仁氏  
(株)エムテック・静岡支部

理仁薬品(株)

〒420-0812 静岡市葵区古庄4-16-1

TEL: 054-261-2145

URL: <https://rihitochemical.com/>

創業 1951年

社員数 10名

入会年月 2021年1月

事業内容 理化学試薬、機器類の卸売業

会員訪問記

伊豆の未来を拓く挑戦者

(株)スマートステイ  
代表取締役 足達聖也氏 (伊東支部)



会社の前にて足達氏

政治の世界から地元伊東へ  
“伊豆に移住者を増やしたい”  
そんな想いを胸に9年前に起業した(株)スマートステイ代表取締役の足達氏を訪問・取材しました。伊東生まれ伊東育ち、高校時代に政治家を志し、大学進学後は議員秘

書として永田町で活躍していた足達氏。政治の世界で華々しい人脈を築いていった一方で、地元伊東の過疎と衰退に目を背けることはできませんでした。  
伊豆に移住者を増やすためにも、まずは伊東を訪れる人を増やそうと、手持ち資金50万円で民泊を軸



社員との一枚

とした宿泊事業を立ち上げました。キャッシュがない中で事業運営は困難を極め、内装工事から集客、清掃まで全てを自らが行い、日々資金繰りに奔走していたと言います。当初は銀行の信用が得られず消費者金融を頼る自転車操業の日々が続きました。それでも一件一件のお客様を大切にし、宿泊して頂いたお客様を自らの車で観光ツアーにご案内したり、時には評判のレストランでお客様と一緒に食事をしながら伊豆の魅力を伝えました。特に言語に不安を持つ海外のお客様には大変喜んで頂けたそうです。

永田町での華々しい生活に区切りをつけて伊豆・伊東で挑戦して気がついたのは、「ローカルでも世界中の方と繋がることのできる自分の行動次第で多様な価値観に触れながら成長していける」ことだと足達氏。自分が選んだ道を突き進んでいく覚悟がより深まったと話します。

信頼と実績がもたらした転機

地道な努力が実を結び、創業3期目にして初めて自社物件を所有することに。ご縁あって安価で譲っていただいたこの物件が固定資産評価700万円だったため、物件を担保に初めて銀行融資を受けられるようになったそうです。さらに、地元の不動産業者とのご縁にも恵まれ、10棟近くの長期在庫物件を貸別荘で運営する提案を受けました。これをきっかけに事業規模は拡大、地域の評判は広がり「スマートステイに物件を委託すれば民泊で利益が出せる」と様々なオーナー様からもオファーをいただきました。

また、創業3年目からは宿泊事業に加え、宅地建物取引業にも着手。宿泊事業はキャッシュフローに優れていますが利益率は低め。一方、不動産事業はキャッシュフローに課題があるものの案件次第では高利益を見込める。この両輪で経営を進めた結果、宿泊事業と不動産事業のバランスが取れ、創業9年目を迎える今期は売上3億円を超える規模に成長しました。

同友会入会と未来の展望

同友会に入会してちょうど1年。地域内外の様々な団体から加入を勧められたものの、どの団体も収益性の話ばかりで、「新しいお付き合いで入会金をペイできるから」という勧誘があまり好きではありませんでした。でも同友会からの誘われ方は違いました。同友会は「しくじり先生」、経営者の失敗や悩みを本音で語り、打開へ

のヒントを学びあう場だと聞きました。実際に例会へ参加したところ真剣に自社経営を語る姿勢に感銘を受け、入会を決意したと言います。

「スマートステイはローカルで生まれ、ローカルで育った会社です。これからは単なる地域貢献という表面的な言葉ではなく、より深い次元で地域に恩を返していきたい」と足達氏。今期は確たる経営理念を明文化したいと考えているそうです。

大事な原点である「伊豆をもっと好きになつてもらいたい」この言葉を胸に地域の未来を拓いていくーそんなビジョンを掲げて、足達氏の挑戦はこれからも続きます。

取材・記事：渡辺淳司氏  
(株)ウェックス・伊東支部

(株)スマートステイ

〒414-0002 伊東市湯川3-3-8

TEL : 0557-48-7837

URL : <https://smartstay.co.jp/>

設立 2016年

社員数 12名 (不動産部3名、宿泊事業9名)

入会年月 2024年1月

事業内容 住宅宿泊管理業、宅地建物取引業  
建物リフォーム業

## 鈴木県知事、森副知事、 増井副知事へ新年挨拶

1月9日（木）静岡県庁にて、鈴木県知事をはじめ、森副知事、増井副知事のもとへ新年の挨拶を行いました。同友会からは、遠藤会長、井上・松葉代表、鈴木・宇佐美・塚本副代表と秋山事務局長が訪問しました。まずは、鈴木県知事に代表理事から昨年のNext50フォーラムへのご臨席とご祝辞の御礼をお伝えしました。続いて2025年度全県経営フォーラム、2026年度中同協定時総会などの行事計画について紹介しました。その後、森副知事、増井副知事にも訪問し、新年の挨拶をお伝えしました。引き続き、静岡県行政との連携や協力を深め、地域経済と社会を支える中小企業の成長・発展にむけた同友会運動を展開、推進していきます。



## 第一回 静岡同友会と静岡労働局との意見交換会

～中小企業を取り巻く雇用環境について意見を交わし連携を深める～

1月30日（木） 同友会事務局会議室 17名

これまで静岡労働局とは県定時総会や全県経営フォーラムなどの県行事にご来賓としてのご臨席や月に一度の情報提供などを通して連携を深めてきました。そしてこの度、初となる意見交換会を開催しました。同友会より11名、静岡労働局より笹正光静岡労働局長をはじめ6名が参加しました。

初めに、笹威頼代表理事より「外部機関との連携では静岡県経済産業部や金融機関の皆様との意見交換などを通じ、企業づくり、地域づくりへの学びを深めてきました。本日は雇用を取り巻く環境について忌憚なく意見を交わす機会にしましょう」と挨拶しました。

続いて、笹正光静岡労働局長より「最近の雇用情勢では、33年ぶりとなる賃上げ率が続いています。しかし、企業の利益が担保されないと言え、賃上げに繋がらないのは明らかです。パートナースhip構築宣言は取引の適正化にむけた方針が示されたものです。適正な価格での取引、同一労働同一賃金の推進にむけて取り組みをさらに推進していく必要性を感じています。今後の施策にむけ、経営者の皆さまの声を直接聴ける貴重な機会と感じます。本日はよろしくお願います」と挨拶がありました。

その後、同友会から提出した事前質問や参加会員からの質問・近況報告をもとに意見交換を実施。企業側・労働行政側

それぞれの立場から働き方改革や副業、価格転嫁の実情、最低賃金、障害者雇用への考え方について意見を交わしました。最後に笹局長より「中小企業のおかれてる現状を聞かせて頂く貴重な機会になりました。労働行政は職業環境の充実をめざし、時代に応じた施策を実行していきます。パートナースhip構築宣言の方針が実現される社会にむけ、皆様のご協力をよろしくお願います」と静岡同友会と静岡労働局の連携を更に深めていくことが確認され、閉会となりました。



静岡労働局との連携を深める

## 静岡大学連携講座

### 第14講

1月8日（水）

目的は社会課題の解決！NPO経営でチャレンジする少子化時代の社会デザイン

講師…塩川 祐子氏

（特定非営利活動法人母力向上委員会・富士宮支部）



「生まれる前から最期まで、その人らしい命の輝き応援団」を人生ミッションとして掲げる塩川氏。自身が子育てで悩んだ経験から、生き生きとした人らしく子育てができる社会をつくりたいとNPOを立ち上げます。産後母親の孤独感・承認機会の減少などの課題解決に向け、産後ケアやママ同士の交流の場づくりに取り組んでいます。また、男性も家事・育児参加も課題であり、男性も家庭を大切にしながら長く働くことができる職場づくりが求められると話しました。最後に「声が小さい人の存在を忘れないで。ぜひ社会課題にかかわってほしい」と伝えました。

### 第15講

1月15日（水）

「NONUKES」ビキニの海は忘れない

～第5福竜丸、水爆被爆く事件、あの頃ほくたちは中学生だった～

講師…杉村 征郎氏



（杉村精工（株）・志太支部）

平和の尊さを伝える為、忘れてはいけない第五福竜丸被爆く事件。当時中学生だった杉村氏は、第五福竜丸が焼津港に帰港してからの様子を目の当たりにし、仲間と共に「原水爆反対」署名活動に取り組みます。その後、全国から3000万もの署名が集まり、日本、また世界中の人々が原水爆の脅威を知ることに。現在の核兵器反対の運動に繋がっていきます。事実を知ることの大切さと平和への想いを語り、最後に学生へ「先入観にとらわれずに勇気をもって学び、歴史的に、多面的に、本質的に物事を考えられる人になってほしい」と伝えました。

## 【第51回景気動向調査 速報集計より】

# 売上・経常利益はプラス基調 資金繰りと業況判断は厳しい

2024年12月期景況調査(102社中330社回答)の速報値結果では、「現在の業況判断D-I(良い・やや良い・悪い・やや悪い)」は▲7(前回▲9)と若干改善。業種別では、サー

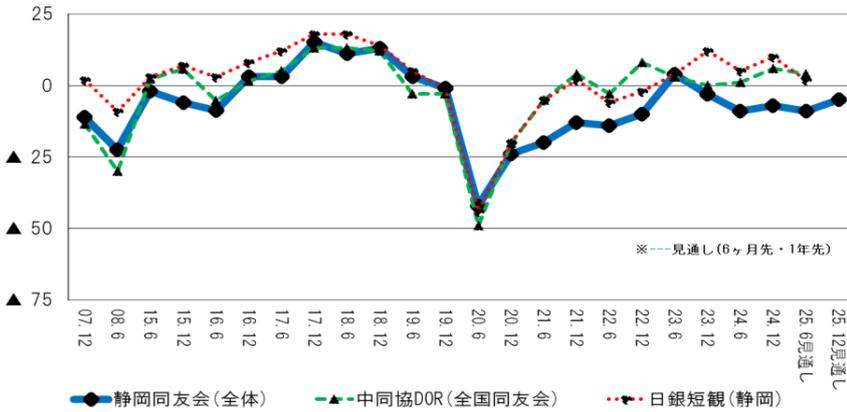
ビスは6(前回5)と上昇したものの、建設は▲3(前回▲4)、流通・卸小売は▲16(前回▲16)と横ばい。製造は▲26(前回▲38)と前回よりは大きく改善するも依然悪化が先行した。地域別では、西部▲3(前回▲21)と大幅に改善がみられた。今後の見通し(全体)は、「現在」▲7に対し、「6ヶ月先」▲9、「1年先」▲5と先行きは厳しくみている。業種別では、建設(現在)▲3から、▲19(6ヶ月先)、▲15(1年先)と厳しい見通しをしている。

「売上高(増加・減少)」は、全体20(前回17)と上昇。業種別にみると、サービスは37(前回28)と調査開始以来最も高い数値となった。次いで、製造は16(前回5)、流通・卸小売は8(前回5)と上昇。一方、建設は3

(前回15)とプラス値ながら後退した。

「経常利益」は、全体8(前回6)とプラスで推移。サービスは26(前回14)と大幅に上昇。製造は▲7(前回

業況判断(現在)と見通し(6ヶ月先・1年先)



▲18)とマイナス値ながら改善がみられた。一方で流通・卸小売は0(前回4)と後退し、建設は▲3(前回10)とマイナスに転じた。

「原材料・仕入価格(上昇・下降)」は、全体77(前回79)と依然として高騰が続く。業種別では、建設94(前回95)、製造88(前回91)、流通・卸小売92(前回92)、サービス57(前回60)と全業種で大きな変化はなく高止まり。「販売価格(上昇・下降)」は、全体51(前回49)と上昇。業種別では、製造51(前回42)、流通・卸小売76(前回68)、サービス40(前回35)と上昇した。一方で建設は50(前回63)と後退した。

「労働力判断(過剰・不足)」は▲43(前回▲41)と依然として不足感が高い。業種別でみると、建設▲66(前回▲59)、製造▲44(前回▲32)と不足感が増した。流通・卸小売は▲34(前回▲43)と改善がみられた。規模別でみると、小規模▲36(前回▲36)、中規模▲50(前回▲47)、

大規模▲6(前回▲53)と規模が大きいほど人手不足感が高まっている。

本調査は、地域社会に根ざす当会会員の企業活動状況を把握することで、地域の景況感・各業種の業況等を的確に捉え、企業経営と同友会活動に生かすことと共に、地域経済活性化の一助として、1999年5月から統計を開始し、今期で51回目(年2回/6月・12月調査)を迎えます。調査結果は当会を始め、県政、大学機関、報道関係者等に広く公表し、地域社会の公共財の認識の下に活用しています。業況判断、地域別、業種別、従業員数毎に統計を行い、現在は静岡大学の太田隆之教授、山本義彦名誉教授(同友会顧問)、県政策委員会メンバーが分析・執筆に関わっています。

第51回景気動向調査の冊子は現在、県政策委員会を中心に作成を進めています。2月上旬にはe.doyuと静岡県中小企業家同友会ウェブサイトアップされますのでぜひご覧ください。

過去の調査冊子は  
こちらからご覧  
いただけます！



# 2月・3月

## DOYU CALENDAR

2月16日(日)～3月15日(土)

|              |   |             |   |
|--------------|---|-------------|---|
| 2月<br>17日(月) | 共育委員会 (18:30 ZOOM)  | 27日(木)      | 県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)  |
| 19日(水)       | 食と農研究会 (18:00 同友会事務局)<br>伊東例会 (19:00 ひぐらし会館&ZOOM)<br>沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ&ZOOM)<br>志太・榛南支部合同例会 (18:30 小杉苑) | 28日(金)      | 三島例会 (19:00 三島市民文化会館会議室)  |
| 20日(木)       | 富士例会 (19:00 富士市交流センター)<br>中遠例会 (19:00 袋井グランドボウル)  | 3月<br>6日(木) | 正副代表理事会<br>(15:00 同友会事務局&ZOOM)  |
| 21日(金)       | 第3回青年部東海合同例会in愛知<br>(13:00 ホテルグランドティアラ南名古屋)   | 7日(金)       | 全県経営フォーラム実行委員会①<br>(18:00 レイアップ御幸町ビルCSA会議室)<br>総務財務委員会<br>(16:00 同友会事務局&ZOOM) |
| 25日(火)       | 県組織増強委員会<br>(18:00 同友会事務局&ZOOM)<br>県政策委員会<br>(18:00 同友会事務局&ZOOM)  | 11日(火)      | 静岡例会 (19:00 清水テルサ)  |
| 26日(水)       | 県例会企画委員会 (18:30 同友会事務局)<br>女性部ダイヤモンドカレッジ幹事会<br>(20:00 ZOOM)   | 12日(水)      | 御殿場例会<br>(19:00 エピ・スクエア)  |
|              |   | 13日(木)      | 浜松例会<br>(19:00 浜松市福祉交流センター)   |
|              |   | 14日(金)      | 富士宮例会<br>(19:00 志ほ川バイパス店)   |



《 あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください 》



## 県障がい者問題委員会クリスマスバザー バザーを通じて社会福祉にかかわる

12月21日(土)

県障がい者問題委員会では、静岡市ボランティア団体連絡協議会主催の「第24回いのちぽかぽか街かどクリスマスバザー」に委員会として出店。青葉公園シンボルロードにて、会員より提供いただいた食品・雑貨などの商材を販売しました。障がい者問題委員会の今年度の活動方針のテーマは「理解の輪を広める・深める」。



バザーへの出店は2003年より毎年行っており、会員から集めた商材を販売し売上金を福祉団体等へ寄付することで、誰でも社会福祉に携わることのできる機会となっています。バザー当日は賑やかな雰囲気の中、参加した委員がお客様や出店団体と直接会話を交わし、委員会の活動をPRしながら商材を販売しました。商材の売上と会員からの寄付の合計額は176,500円となり、過去最高の金額となりました。これらは委員会内で協議し、社会福祉に関わる団体へ寄付します。寄付の詳細につきましては追って皆様にご案内します。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

